彦根城博物館年報

令和３年度

は　じ　め　に

彦根城博物館は、昭和62年2月に市制施行50周年を記念して開館し、令和4年2月には、開館35周年を迎えることとなりました。これもひとえに市民をはじめとする多くの皆様のご支援・ご協力の賜物と感謝いたしております。

さて、令和3年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が流行したことにより、感染予防対策に追われる1年となりました。年度当初は、来館者数に回復の兆しが見えていたものの、夏頃には同感染症流行第5波の到来で重症患者の数が増え、医療体制がひっ迫したこともあり、都市部を中心に緊急事態宣言が発出されることとなりました。そのため、ひと月当たりの入館者数は8月から前年度より減少に転じてしまいました。また、滋賀県下でも緊急事態宣言が8月27日から9月末まで発出されたことにより、第54回彦根城能等のイベントも中止を余儀なくされてしまいました。さらに、その後の同感染症新種のオミクロン株の流行や、年末から2月にかけて度々積雪に見舞われたことに加え、崩落対策工事のため彦根城の表門からの入場が1月初めから2か月程度出来なくなったことから、彦根城の観光を兼ねた入館者が少なくなり、1年間の延べ入館者数は62,016人に留まり、同じくコロナ禍だった令和2年度と比べても、5,446人の減少となりました。

以上のように厳しい状況の中ではありましたが、館蔵資料の分野別常設展示である「“ほんもの”との出会い」をはじめ、特別展「日本の刀装－刀を飾る技と美－」、企画展「中川禄郎－井伊直弼を支えた儒学者－」、同「奇才の絵師　張月樵－彦根～京～名古屋への道－」を開催し、テーマ展・特別公開については博物館資料を用いた展覧会を年間8回開催しました。

次に、保存管理においては、彦根藩井伊家文書の保存修理を今年度も継続実施しました。また、資料調査事業の完了記念としてその成果を、特集展示「井伊家と近代彦根－井伊家近代文書調査の成果より－」において発表しました。

さらに、令和3年度からの新たな取り組みとして、文化観光推進事業を国の補助を受けて開始いたしました。これは、彦根市の観光と文化に携わる関係者が官民に関わりなく地域一体となって様々な事業に取り組むことにより、文化・観光の推進や地域の活性化といった好循環を生み出すことを目的としたものです。本館では、地域における文化資源の魅力増進、地域における文化観光の利便増進、施設・設備の整備の三分野で様々な事業を実施しました。

今後は、彦根市が令和3年度に策定した「彦根市総合計画」の中で目標とする「歴史・文化を生かし、にぎわいと特色がある産業が育つまち」となるように、文化財の保存に加え、その活用を図ってまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本年報が、当館の運営において、一層のご理解に資するものとなれば幸いです。

令和４年７月

彦根城博物館
館長　井伊　岳夫

1．展　示

(1) 常設展示“ほんもの”との出会い

井伊家に伝来した美術工芸品や古文書を中心に、受贈・購入資料約77,000件、受託資料を合わせると約93,000件の博物館資料の中から、1回約80点を分野ごとの6テーマ「武家の備え」「幽玄の美」「数寄の世界」「雅楽の伝統」「風雅のたしなみ」「古文書が語る世界」で展示した。博物館資料の保存対策をはかり、季節感に合わせた展示内容となるよう、年間11回の展示替を行った。分野ごとの展示解説シート（木造棟を含めた和文解説20種、英文解説12種）を設置・配布した。

①武家の備え

「井伊の赤備え」と称される歴代藩主の甲冑、刀剣・拵、馬具、弓具、纏、合戦図など。

②幽玄の美

15代直忠が収集した大揃いの能装束や能面。

③数寄の世界

譜代大名家にふさわしい各種の茶道具や藩窯湖東焼。

④雅楽の伝統

12代直亮が収集した日本でも有数の質と量を兼ね備えた雅楽器。

⑤風雅のたしなみ

大名の生活を彩った絵画や書、調度品。

⑥古文書が語る世界

重要文化財「彦根藩井伊家文書」を中心とした古文書類。

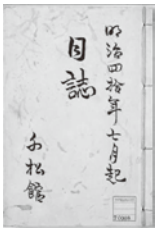
(2) テーマ展・特別公開・特集展示

分野別の展示「“ほんもの”との出会い」とは視点を変えて個別のテーマを取り上げた「テーマ展」を6回、国宝・彦根屏風および弥千代の雛道具を中心に公開する「特別公開」、井伊家近代文書調査の完了を記念した「特集展示」を実施した。

①特集展示「資料調査事業完了記念　井伊家と近代彦根 －井伊家近代文書調査の成果より－」

大名から華族となった近代の井伊家が東京を本拠とした後に行った、彦根での諸活動を紹介した。

会　　期：令和3年4月15日（木）～6月14日（月）　※6月8日は休館。
会　　場：展示室6
入場者数：8,983人



②特別公開「国宝・彦根屏風」

近世初期風俗画の傑作、国宝・彦根屏風を公開した。

会　　期：令和3年4月16日（金）～5月16日（日）
会　　場：展示室１
入場者数：6,137人

③テーマ展「花々の意匠　－四季を彩る－」

古来、花は人々に愛され、その姿はさまざまなデザインに取り入れられてきた。本展では、梅や桜、蓮、菊など、四季折々の花をあしらった美術工芸品を紹介した。

会　　期：令和3年5月19日（水）～6月15日（火）
　　※6月8日は休館。
会　　場：展示室１
入場者数：2,805人

④テーマ展「“写し”　－日本美術を読み解くキーワード－」

日本の美術において、オリジナルをもとに作られる「写し」は、優れた作品の技を学び、伝え、さらには新たな作品を生み出す原動力ともなっている。館蔵品を通して、さまざまな「写し」のあり方と特徴を紹介した。

会　　期：令和3年6月18日（金）～7月14日（水）
会　　場：展示室１
入場者数：3,303人

⑤テーマ展「茶道具の“い・ろ・は”」

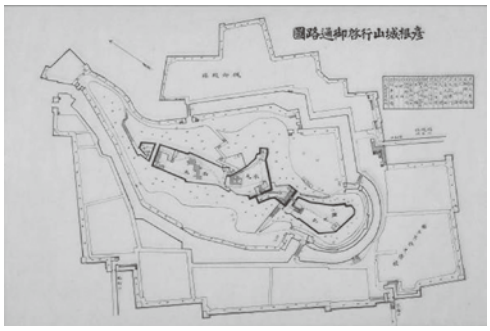
茶道具とは、抹茶をたてて客をもてなす「茶の湯」で用いる道具の総称。本展では、多岐にわたる茶道具のそれぞれの用途や造形的な魅力を、分かりやすく紹介した。

会　　期：令和3年8月20日（金）～9月15日（水）
　　※9月1日は休館。
会　　場：展示室１
入場者数：3,107人

⑥テーマ展「井伊家近代文書からみる彦根城」

江戸時代に権力や軍事の拠点であった城は、近代になると地域住民に開かれた公共の場になっていった。本展では、彦根城の天守が一般に公開されるなど、城が人びとの親しむ場へと転換していく姿を紹介した。

会　　期：令和3年11月27日（土）～12月24日（金）
※12月8日は休館。
会　　場：展示室１
入場者数：5,248人



⑦テーマ展「老いを言祝ぐ －能の世界から－」

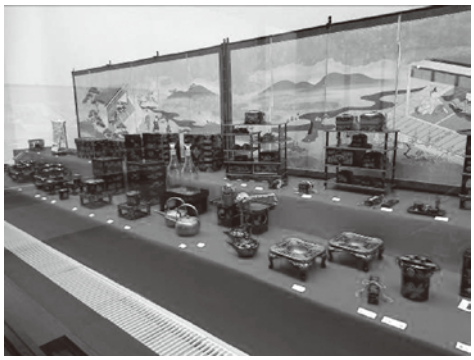
古来日本では、多くの年を重ねた尉や姥は、神に近い存在とされてきた。年老いた神が世を言祝ぐ〈翁〉、相生の松の精の老夫婦が登場する〈高砂〉など、めでたい能の演目を通して、祝うべき老いの世界を紹介した。

会　　期：令和4年1月1日（土・祝）～2月2日（水）
※1月1日～1月3日は大雪の影響で臨時休館。1月5日は休館。
会　　場：展示室１
入場者数：1,168人

⑧特別公開「雛と雛道具」

井伊家13代直弼の愛娘弥千代（1846～1927）の雛と大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した古今雛や御殿飾りなどとともに一挙に公開した。

会　　期：令和4年2月5日（土）～3月7日（月）
会　　場：展示室１
入場者数：3,045人



⑨テーマ展「合戦の現場 －井伊家の軍勢と集団戦－」

室町時代末期になると、敵味方が入り乱れた激しい戦いが各地で繰り広げられた。本展では、将の位置を示す旗や兵に指示を出す采配をはじめ、集団戦で用いられた武具を通じて合戦における井伊軍の実態を紹介した。

会　　期：令和4年3月11日（金）～4月12日（火）
会　　場：展示室１
入場者数：12,772人

(3) 企画展

「企画展」は、博物館資料に加え外部からも資料を借用するもので、2回開催した。

①企画展「中川禄郎 －井伊直弼を支えた儒学者－」

中川禄郎（1796～1854）は、井伊家12代直亮、13代直弼に仕えた儒学者。特に直弼には、藩主としての心得を説き、外国との通商を進言するなど大きな影響を与えた。本展では、禄郎自筆の書や古文書などから、その生涯に迫った。

会　　期：令和3年7月17日（土）～8月17日（火）
会　　場：展示室１
入場者数：8,217人

②企画展「奇才の絵師 張月樵 －彦根～京～名古屋への道－」

彦根出身の張月樵（1765～1832）の作品と画業を紹介した。月樵は、京で四条派の祖・松村月渓（呉春）らに学び、名古屋へ拠点を移して当地の代表的な絵師の地位を確立し、尾張徳川家の御用もつとめた。

会　　期：令和3年9月18日（土）～10月18日（月）
会　　場：展示室１
入場者数：6,832人

(4) 特別展

特別展「日本の刀装 －刀を飾る技と美－」

刀装には古くから装飾が施され、その種類は時代が下がるにつれて豊かになっていく。本展では、日本の刀装の変遷を、鞘塗を中心とする装飾に焦点をあてて紹介するとともに、その魅力に迫った。

会　　期：令和3年10月23日（土）～11月23日（火・祝）
会　　場：展示室１～３
入場者数：11,368人

2．収集・保管

(1) 購入資料

名　　称	件　数
御入部御覧留	1件
牧童図　佐竹永海筆	1件
山水図　佐竹永海筆	1件

(2) 受贈資料

名　　称	件　数	寄　贈　者
張果老画賛　画：望月玉蟾筆　賛：野村東皐筆　ほか	12件	山口順一郎 氏
柳町石田家伝来資料	152件	個人
古詩「接竹引泉」「対酒」　日下部鳴鶴筆	1件	野原たまき 氏
井家粗覧	1件	木俣正雄 氏
花卉図屏風　ほか	5件	髙木宏樹 氏、髙木直樹 氏、平澤陽子 氏
井伊直亮書状　善住院宛	1件	小田滋子 氏
森弘平家資料	126件	森博行 氏
山水図　佐竹永海筆　ほか	2件	山口順一郎 氏

(3) 資料修理

名　　称	数　量
雅楽器のうち	
箏	1面
琵琶	1面
重要文化財彦根藩井伊家文書のうち	
御城使寄合留帳	2冊
持弓覚記	1冊

(4) 資料貸出

名　　称	件数	貸　出　先	展覧会名称
井伊直政画像　1幅ほか	5件	滋賀県立安土城考古博物館	春季特別展「びわ湖と城―信長・秀吉・家康の湖上支配―」 会期：令和3年4月24日～令和3年6月6日
重要文化財　沢山城古城之絵図　1舗	1件	松江歴史館	特別展「戦国の世を馳せた武将　堀尾吉晴」 会期：令和3年9月17日～令和3年10月17日
滋賀県指定有形文化財 朱漆塗燻韋威縫延胸目綴 腰取二枚胴具足　1領ほか	2件	サントリー美術館	サントリー美術館 開館60周年記念展「刀剣　もののふの心」 会期：令和3年9月15日～令和3年10月31日

※作品の展示期間は上記の展覧会期間とは異なる。

3．調査・研究

(1) 井伊家伝来資料を中心とする博物館資料等の調査

①彦根藩資料調査研究会「殿様の日常生活」

②個別分野資料調査研究

・井伊家伝来武具の内、刀装および金工に関する基礎調査を行った。

・井伊家伝来装束の内、公家装束の基礎調査を行った。

・井伊家伝来能道具の内、小道具の基礎調査を継続して実施している。

・井伊直忠の演能および能楽の関わりについて文献調査を継続して実施している。

③関東大震災品（美術工芸品）調査

④基礎資料翻刻　『彦根藩史料叢書　侍中由緒帳』17巻の原稿作成・編集作業・刊行

⑤旧彦根藩士家等の個人や寺社等が所蔵する美術工芸品や古文書の調査

・彦根藩大久保家文書近世分の目録作成のほか、調査を進めている。

⑥資料の寄贈・寄託を受ける際の、資料調査と目録採録

(2) 令和3年度に開催する特別展と企画展､令和4年度以降に開催する展覧会関連資料の調査研究

①令和3年度企画展「中川禄郎」

②令和3年度企画展「奇才の絵師 張月樵」

③令和3年度特別展「日本の刀装」

④令和4年度企画展「彦根藩の足軽」

⑤令和4年度企画展「彦根藩井伊家の刀剣」

⑥令和4年度企画展「上田道三」

(3) 『彦根城博物館研究紀要』第32号の刊行

「資料翻刻「楽器類留」続　弾きもの」､「資料翻刻　五十嵐半次家文書中の大坂の陣関係史料」の2編を収録し刊行した。

(4) その他

①大名道具収蔵館研究会

大名道具を収蔵する博物館が集まり、大名道具や大名家の歴史に関する研究発表・情報交換を行う「大名道具収蔵館研究会」の第28回研究会「大名の衣服」（令和4年1月18日開催）にリモート方式にて参加した。

4．普　　及

(1) 講演会等

特別展「日本の刀装 －刀を飾る技と美－」関連講演会

①記念対談　「語り尽くす！大名家の拵と井伊家伝来刀装」

開催日時：令和3年11月6日（土）　14時～15時30分

会　　場：当館講堂

講　　師：伊東哲夫氏（文化庁文化財第一課調査官）と担当学芸員による対談

参加者数：25人

②講演会「日本の刀装 その豊かなる装飾」

開催日時：令和3年11月13日（土）
14時～15時30分

会　　場：当館講堂

講　　師：古幡昇子（当館学芸員）

参加者数：19人

(2) 展示解説

通常は、展覧会ごとに展示室で担当学芸員が展示の趣旨や展示作品のみどころを解説するギャラリートークを行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講堂にてパワーポイントを用いて展示の概要などを解説するスライドトークを実施した。なお、「⑦　奇才の絵師　張月樵－彦根～京～名古屋への道－」については、緊急事態宣言発出に伴い中止となった。

タ　イ　ト　ル	開　催　日	担当学芸員	参加者数
①井伊家と近代彦根 －井伊家近代文書調査の成果より－	令和3年 4月18日（日）	竹内　光久	6人
②国宝・彦根屏風	令和3年 4月17日（土）	髙木　文恵	10人
③花々の意匠－四季を彩る－	令和3年 5月22日（土）	奥田　晶子	12人
④“写し”－日本美術を読み解くキーワード－	令和3年 6月19日（土）	茨木　恵美	10人
⑤中川禄郎－井伊直弼を支えた儒学者－	令和3年 7月17日（土）	北野　智也	19人
⑥茶道具の“い・ろ・は”	令和3年 8月21日（土）	奥田　晶子	18人
⑦奇才の絵師 張月樵 －彦根～京～名古屋への道－	令和3年 9月18日（土） 中止	髙木　文恵	－
⑧日本の刀装－刀を飾る技と美－	令和3年10月23日（土）	古幡　昇子	12人
⑨井伊家近代文書からみる彦根城	令和3年11月27日（土）	蔭山　兼治	7人
⑩老いを言祝ぐ－能の世界から－	令和4年 1月 8日（土）	茨木　恵美	6人
⑪雛と雛道具	令和4年 2月 5日（土）	奥田　晶子	2人
⑫合戦の現場－井伊家の軍勢と集団戦－	令和4年 3月12日（土）	古幡　昇子	28人

※時間はいずれも14時00分～14時30分。

(3) 博物館講座

市民が彦根城博物館とその資料、日本の歴史や美術に親しむ機会を提供するために、学芸員それぞれが、展示内容や各自の研究テーマについて日ごろの成果を踏まえてより深く解説した。

タ　イ　ト　ル	開催日	担当学芸員	参加者数
①特集展示「井伊家と近代彦根」関連講座 「井伊家文書にみる井伊家と教育」 「彦根招魂社の設立と井伊家」	令和3年 4月24日（土）	竹内　光久 渡辺　恒一	13人
②講座　私の研究最前線 「伝承のなかの戦国－古城図・合戦記から見る近世の戦国観－」	令和3年 6月 5日（土）	蔭山　兼治	18人
③講座　私の研究最前線 「湖東焼研究の一級資料 関東大震災罹災品」	令和3年 7月 3日（土）	奥田　晶子	11人
④企画展「中川禄郎」関連講演会 「井伊直弼を支えた儒学者 中川禄郎の人と学問」	令和3年 7月31日（土）	北野　智也	29人
⑤企画展「奇才の絵師 張月樵」関連講演会 「張月樵～謎の生涯～」	令和3年10月 2日（土）	髙木　文恵	24人
⑥テーマ展「井伊家近代文書からみる彦根城」関連講座 「彦根城と近代」	令和3年12月11日（土）	蔭山　兼治	24人
⑦テーマ展「老いを言祝ぐ」関連講座 「能にみる老いの世界」	令和4年 1月15日（土）	茨木　恵美	5人
⑧講座　私の研究最前線 「相続する彦根藩足軽」	令和4年 2月19日（土）	早川　駿治	14人
⑨講座　私の研究最前線 「彦根藩足軽組の組織構造」	令和4年 3月19日（土）	北野　智也	23人

（4）博物館教室

①古文書のみかた

当館所蔵「彦根藩井伊家文書」などをテキストに、古文書解読方法を基礎から講義する教室を開催した。

開催日時：令和3年10月9日（土）、10月16日（土）、10月30日（土）、11月7日（日）、
11月20日（土）、12月4日（土）　（全6回）
いずれも14時～16時
※当初は8月28日に第1回を行う予定だったが、滋賀県に緊急事態宣言が発出されたことにより、10月以降に延期して開催した。

参加者数：延べ125人

講　　師：早川駿治、竹内光久

②キッズサマースクール・わくわく体験スクール

小学生向けに日本の伝統文化や歴史に親しむ体験教室2回を計画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、うち1回は中止となった。

1）キッズサマースクール

開催日時：令和3年8月1日（日）　10：00～12：00　小学4～6年生対象
　　13：30～15：30　小学1～3年生対象

内　　容：和綴じという日本の伝統的な本のつくりかたを学び、和紙を使って、オリジナルのノートをつくった。

参加者数：36人(午前・午後合計)

講　　師：当館学芸員

2）茶道を楽しもう

開催日時：令和3年10月3日（日）　中止

内　　容：小学生を対象に、茶道の文化を学び、実際にお茶の体験を行う。

講　　師：外海和子氏

※滋賀県下に緊急事態宣言が発出されたことから、感染拡大防止のため開催を中止

(5) 彦根城博物館だより

133～136号を発行し、当館の展示や催物等の行事案内、お知らせ、学芸員が執筆する研究余録を掲載して、各6,000部を印刷して来館者や関係機関に配布した。

(6) 博物館学芸員実習

期　　間：令和3年8月11日（水）、17日（火）、20日（金）、23日（月）、25日（水）の5日間

受入人数：6人（滋賀県立大学3人、三重大学1人、大谷大学1人、京都芸術大学1人）

(7) 展示案内の受け入れ・講師派遣など

小中高校の総合学習をはじめとする授業の一環などで博物館に来館した児童・生徒へ、当館および井伊家等に関する解説や質問対応を行った。また、出前講座をはじめ、歴史、美術に関する講座・講演会等の依頼に随時応えた。

学 校 対 応：	総合学習	3件	参加者数：177人
大学の講義：	滋賀県立大学「博物館展示論」の講義	6回	受講者数：　61人
講　　演：	市民団体、他の自治体等	2件	受講者数：　42人
	市内公民館の講座	2件	受講者数：　24人
	庁内機関の講座	1件	受講者数：　10人
	彦根城博物館友の会主催の講演会等	3件	受講者数：　52人

(8) 問い合わせ等の対応

歴史、美術に関する疑問や先祖調査など、市民等の問い合わせに随時答えた。

(9) 彦根城博物館ホームページ

ホームページにおいて、最新情報を公開するとともに、館蔵作品の紹介を充実させ、当館の魅力を積極的に発信した。また、SNSの活用として、新たにTwitterについて、アカウント運用方針を10月に策定し、11月1日からツイートを開始するなど、即時的な情報発信に努めた。

Twitter画面（フォロワー1000人達成時）

5．市民との協働

これからの博物館運営には、博物館を地域の一人ひとりが支えていく体制づくりが求められている。このことから、博物館と市民とが協働して活動する体制づくりに取り組んできた。令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動を縮小する結果となった。

(1) 彦根城博物館友の会

①活動内容等

友の会会員の数は、一般会員328人（高校生含む）、ジュニア会員1人、賛助会員97口。「彦根城博物館友の会ニュース」を年4回刊行している。誌面には行事や展示の案内の他に、投稿や学習のための記事を掲載。また、友の会独自で講演会や研修会を開催している。

②展示解説ボランティアガイド

一部中止

会員の中からボランティアを募り、観覧者からの展示解説の要望に応えている。展覧会ごとの学習会では学芸員が展示説明会を開きガイドの育成を図っている。ただし、令和3年度は学習会のみ行い、展示解説は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

ボランティアガイド登録者数：10人

展示解説の回数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）： 延べ 0回

(2) 博物館支援スタッフ

博物館事業の運営に関わる支援スタッフを募集し、博物館職員と共に活動した。

①彦根城能・狂言運営事業

一部中止

新型コロナウイルス感染症拡大により開催中止となったため、事前のチラシ分け作業のみの活動となった。

登録者数：19人　　活動回数：1回　　活動人数：9人

②教育普及事業

「キッズサマースクール」で小学生へ体験学習の指導を行った。茶道体験教室は開催中止となった。

登録者数：15人　　活動回数：2回　　活動人数：延べ12人

③古文書解読ボランティア

登録者を2グループに分けて隔月で定例会を開催し、「側役日記」（彦根藩井伊家文書）の解読作業を進めた。

登録者数：21人　　活動回数：12回　　活動人数：延べ105人

6．催　　物

(1) 彦根城能・お能の国のクラシック

中止

当館の特徴の一つである能舞台は、復元建築物ではなく、移築されて解体を免れた能舞台を再び元の位置に移築したもので、寛政12年(1800年)に建てられた由緒ある能舞台である。令和3年度は、「第54回彦根城能」と「お能の国のクラシック」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

開催予定日：令和3年9月19日（日）

(2) 寒月の茶席

観光関係団体が連携し、夜のイベントを開催した。当館では、藩主の住まいを復元した木造棟で、庭園をライトアップし、お茶席を開催した。（抹茶・季節の生菓子付き）

開催日時：令和3年11月27日（土)、28日（日)、12月4日（土)、5日（日）
①18時00分～18時30分　②18時45分～19時15分　③19時30分～20時00分
※30分制

料　　金：一服　500円

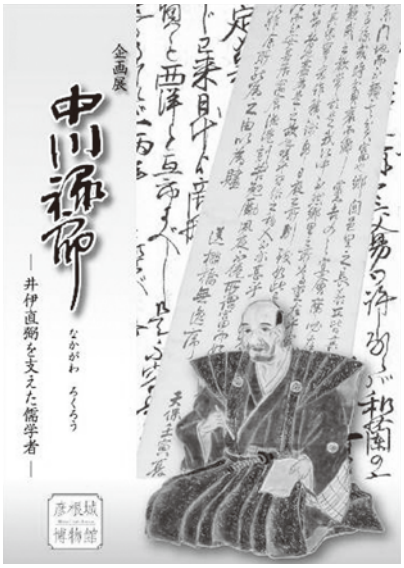
開催回数：6回

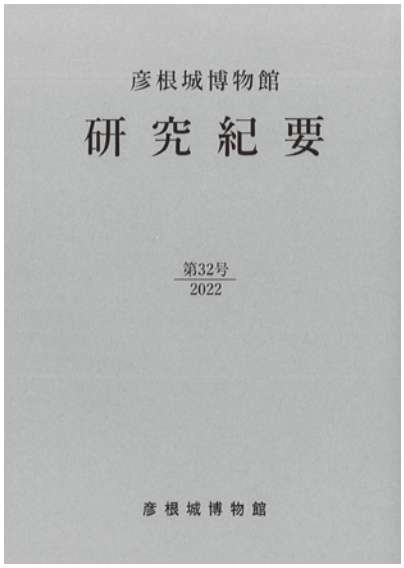
参加者数：延べ　19人

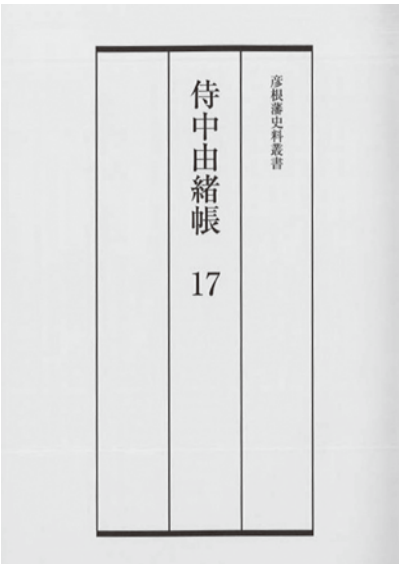
寒月の茶席の様子

7．刊　行　物

名　　称	発行年月	備　　考
企画展図録「中川禄郎－井伊直弼を支えた儒学者－」	令和3年 7月	Ａ５判・ 57頁　1,000冊
企画展図録「奇才の絵師 張月樵－彦根～京～名古屋への道－」	令和3年 9月	Ａ４判・ 58頁　1,000冊
特別展図録「日本の刀装－刀を飾る技と美－」	令和3年10月	Ａ４判・ 96頁　1,000冊
彦根城博物館研究紀要　第32号	令和4年 3月	Ｂ５判・ 80頁　650冊
彦根藩史料叢書　侍中由緒帳　第17巻	令和4年 3月	Ａ５判・412頁　200冊







8．薄茶席・売店運営事業

来館者へのサービス提供の一つとして当館直営で運営している。

(1) 薄茶席

当博物館の普及活動の一環として、日本の伝統文化の体験と来館者へのサービスを提供するため、薄茶席コーナーを設け、能舞台を眺めながら落ち着いた雰囲気で休憩していただいている。

一服　　500円（生菓子付き）　　※8月27日から9月30日まで提供中止

(2) 売店（ミュージアムショップ）

当博物館の普及活動の一環として、彦根城博物館に関連する図録等の普及物品を販売した。

＜博物館関連商品＞　　（単位：円）

商　品　名	販売単価	商　品　名	販売単価
彦根屏風（小型）紙箱入り	5,170	薬入れ(2種類)	1,400
彦根屏風（小型）桐箱入り	6,380	巾着(6種類)	1,400
彦根屏風（大型）紙箱入り	12,100	小風呂敷(2種類)	1,100
彦根屏風（大型）桐箱入り	20,680	彦根風呂敷	4,900
関ヶ原合戦図屏風	9,900	古帛紗	4,400
彦根屏風色紙	1,980	彦根更紗小風呂敷(3種類)	1,300
絵はがき　彦根屏風）	550	扇子	2,500
絵はがき（単品）	110	扇子たて	1,000
彦根城パンフレット	660	印鑑入れ(2種類)	750
クリアファイル関ヶ原	550	サイフ(5種類)	900
彦根更紗井伊布ランチョンマット	1,000	メガネケース（4種類）	1,000
井伊家伝来富貴長命古帛紗	5,500	平型スキヤ（綿）大	3,800
井伊家伝来富貴長命出帛紗	16,500	マチ付がま口	1,650
井伊家伝来富貴長命風呂敷	7,000	彦根更紗柄　ウンヤ手数寄屋袋	20,900
井伊家伝来富貴長命小風呂敷	2,000	彦根更紗柄　ウンヤ手懐紙入れ	8,250
彦根藩井伊家　家紋手拭い	1,330	彦根更紗柄　ウンヤ手小帛紗	8,800
彦根藩井伊家　井桁手拭い	1,070	彦根更紗柄　ウンヤ手大帛紗	17,600
彦根藩井伊家　金張アクリルストラップ	1,300	彦根更紗柄　段更紗数寄屋袋	18,700
彦根藩井伊家　アクリル彫刻ストラップ	920	彦根更紗柄　段更紗懐紙入れ	7,700
彦根藩井伊家　竹彫刻ストラップ	720	彦根更紗柄　段更紗小帛紗	8,800
ピンバッジ（5種類）	300	彦根更紗柄　段更紗大帛紗	17,600
ハンカチ　名物裂（3種類）	1,300	多言語音声ガイド	500

＜図　書　類＞　　（単位：円）

商　品　名	販売単価	商　品　名	販売単価
城下町彦根　街道と町並	1,320	幻の名窯－湖東焼（改訂版）－	2,200
幕末維新の彦根藩	6,050	城下町彦根を描く	3,780
彦根藩の藩政機構	7,150	彦根城を極める	880
譜代大名井伊家の儀礼	6,600	埋木舎と井伊直弼	1,320
武家の生活と教養	6,050	近江佐和山城・彦根城	2,750
城下町の記憶	2,200	すごいぞ！彦根城	1,100
公用方秘録	6,600	滋賀ミュージアムガイド	1,320
井伊直弼の茶の湯（上）	6,600	彦根カルタ	990
井伊直弼の茶の湯（下）	7,150	ひこね	1,100

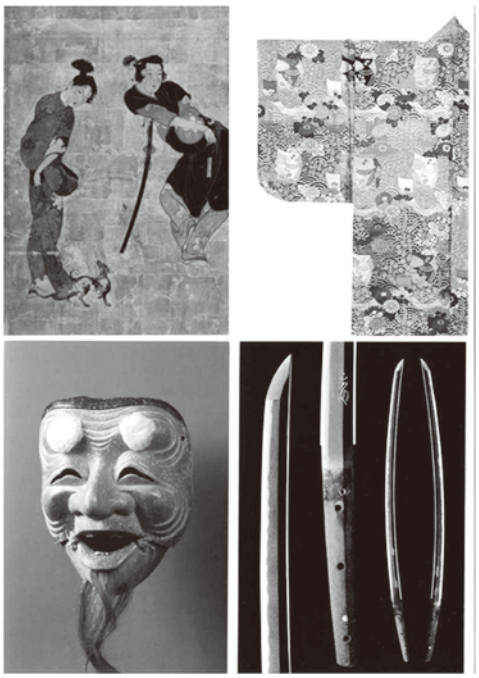
＜図　録　等＞　　（単位：円）

商　品　名	販売単価	商　品　名	販売単価
琉球王朝の美	1,300	研究紀要　22	800
お多賀さまへは月まいり	1,500	研究紀要　23	1,000
宴	1,600	研究紀要　24	800
馬	1,500	研究紀要　25	900
京都画壇の華－狩野永岳－	1,500	研究紀要　26	900
美術のなかの童子	1,500	研究紀要　27	800
長浜大通寺の精華	1,500	研究紀要　28	900
延寿寺の歴史と美術	200	研究紀要　29	900
仙琳寺の歴史と美術	300	研究紀要　30	1,000
高宮寺と時宗の美術	500	研究紀要　31	900
彦根藩御用絵師　佐竹永海	500	法蔵寺文書目録	1,000
江戸時代の高宮	300	四十九町代官家文書･村崎家文書調査報告書	1,200
彦根の黄檗寺院	500	たんけん！！彦根城表御殿	200
近江八景から琵琶湖八景へ	500	井伊直弼ってどんな人？	200
彦根ゆかりの画人	500	江戸時代の医療	300
国宝　彦根屏風	27,300	直政・直孝物語	200
侍中由緒帳　1	3,000	井伊家伝来の名宝１　井伊家と彦根藩	700
侍中由緒帳　2	3,900	井伊家伝来の名宝２　武器と武具	700
侍中由緒帳　3	3,700	井伊家伝来の名宝３　彦根屏風と書画	700
侍中由緒帳　4	3,500	井伊家伝来の名宝４　茶道具と調度	700
侍中由緒帳　5	3,500	井伊家伝来の名宝５　能と雅楽	700
侍中由緒帳　6	3,000	政治の時代－井伊直弼と幕末の群像－	1,500
侍中由緒帳　7	3,000	直弼かるた	1,000
侍中由緒帳　8	3,000	五百羅漢のお寺　－天寧寺の歴史と美術－	500
侍中由緒帳　9	3,000	ポスター　関ヶ原合戦図屏風	300
侍中由緒帳 10	3,000	肥田の古墳･城･村－大地に刻まれた記憶－	600
侍中由緒帳 11	3,000	武門の絆－徳川将軍家と井伊家－	1,000
侍中由緒帳 12	3,000	近代日本の書聖　日下部鳴鶴	800
侍中由緒帳 13	3,000	茶人井伊直弼と幕末のやきもの	500
侍中由緒帳 14	3,000	彦根藩筆頭家老･木俣清左衛門家資料	600
侍中由緒帳 15	3,000	近江と能－霊場・名所・物語－	500
侍中由緒帳 16	3,000	天下普請の城　彦根城	900
研究紀要　5	1,500	井伊直弼のこころ－百五十年目の真実－	800
研究紀要　8	1,000	忠義の人　遠城謙道－主君直弼への思いと禅画－	500
研究紀要　9	1,000	一期一会の世界　大名茶人　井伊直弼のすべて	1,000
研究紀要　10	1,000	重要文化財「彦根藩井伊家文書」老中奉書等修理報告書	1,800
研究紀要　11	1,000	参勤交代と彦根藩領－大名行列を迎えた人々－	600
研究紀要　12	1,000	コレクター大名 井伊直亮－知られざる大コレクションの全貌－	1,200
研究紀要　13	800	能面再興の立役者　近代の名工･中村直彦	500
研究紀要　15	800	商家のうつわ－湖東の商家伝来のやきもの－	500
研究紀要　16	800	彦根製糸場－近代化の先駆け－	600
研究紀要　17	800	長曽祢虎徹－新刀随一の匠－	1,000
研究紀要　18	800	江戸時代の彦根を知ろう！	700
研究紀要　19	800	雛と雛道具	700
研究紀要　20	800	クリアファイル（5種類）	315
研究紀要　21	1,000	一筆箋（2種類）	300

（単位：円）

商　　品　　名	販売単価	商　　品　　名	販売単価
付箋	100	幻の名窯 湖東焼－彦根藩窯の盛衰－	1,800
絵はがきセット（6種類入り）	500	絵はがき（湖東焼3種類）	100
オリジナルトートバッグ	500	中川禄郎－井伊直弼を支えた儒学者－	600
ポストカード（彦根屏風）	100	奇才の絵師 張月樵－彦根～京～名古屋への道－	1,000
オリジナルミニバッグ（彦根屏風）	700	日本の刀装－刀を飾る技と美－	1,500
拵－井伊家伝来の刀装－	1,200	彦根城 御城印(博物館オリジナル)	300
彦根藩井伊家と能楽	500	絵はがき（30種類）	100

令和3年度に新たに販売した商品



絵葉書（一部抜粋）

9．文化観光推進事業

文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律に則り認定を受けた地域計画に基づき、文化資源の磨き上げ、Wi-Fiやキャッシュレス決済等の整備、学芸員等の体制支援、バリアフリー等の利便性向上改修や展示改修等、地域一体となった観光コンテンツの造成等の取組について国の支援を受けて、彦根地域の文化の振興を起点とした文化観光を推進し、文化・観光の振興、地域の活性化の好循環を図る取組である。

(1) 彦根藩資料調査研究活用事業

彦根藩資料の調査研究を深め、かつその成果を活用することによって、彦根の文化観光を推進することを目的に、博物館学芸員と外部の日本史研究者が彦根藩井伊家当主の生活実態の解明をテーマに共同研究を行うもの。

今年度は、令和3年度～7年度までの5か年計画の初年度。計4回の研究会を開催し、それらの成果を常設展示「古文書が語る世界」で2回公開したほか、広報ひこね等の媒体で紹介した。また、第4回目の研究会は、「『側役日記』から見る殿様の姿―井伊直幸の初入国を中心に―」と題し、公開研究会という形で行った。

公開研究会の様子

日本史研究者（招聘）：有坂道子氏（京都橘大学教授）
並木昌史氏
（徳川美術館学芸部マネージャー）
三宅正浩氏（京都大学准教授）

研究会開催日：第1回　令和3年7月4日(日)
第2回　令和3年9月20日(月)
第3回　令和4年1月5日(水)
第4回　令和4年3月21日(月)　（一般公開／参加者数37名）

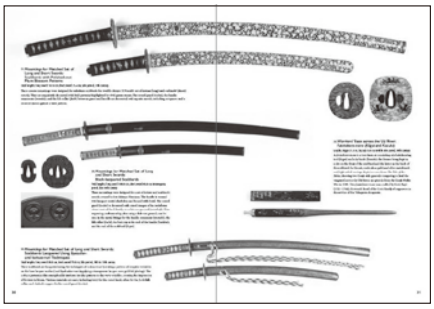
(2) 伝統芸能・伝統芸道体感事業

本館の能舞台は全国的にも珍しい江戸時代の建築物が現存する施設だが、舞台は年数回しか活用されておらず、多くの来館者には上演時の様子が想像しにくい状況になっている。そこで、過去の能や狂言の公演を録画したビデオテープの画像をデジタル化してダイジェスト画像を作成し、視聴できる仕組みを構築することで、来館者の満足度を高め、来館者の増加に繋げるもの。令和4年2月より、20の公演に係る画像の提供を開始した。

画像を視聴する様子

(3) 多言語情報提供強化事業

英語圏の外国人観光客に向けた英語解説文を作成した。外国人の興味・関心や日本の歴史・文化への理解度を踏まえた内容とするため、ネイティブライターが博物館学芸員と綿密に協議をして、魅力的でわかりやすい英文と冊子として活用できるデータを作成した。

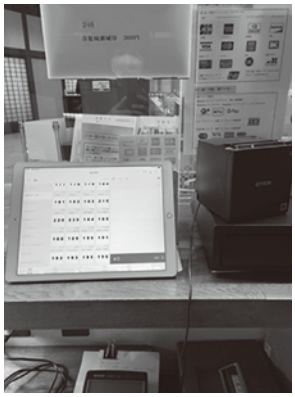


冊子データ

(4) キャッシュレス支払システム導入事業

従来、売店のみで導入していたキャッシュレス決済について、受付や薄茶席にも拡大することで、現金での決済をあまり行わない外国人をはじめ、多くの来館者の利便性を拡大するほか、現金による接触機会を減らすことで、新型コロナウイルス感染症の対策も併せて行った。

・令和4年3月からサービス開始

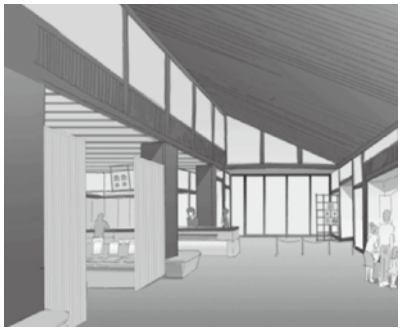


レジシステム

(5) 彦根城博物館リニューアル事業

能舞台周りの外気対策を実施することで舞台のさらなる利活用を図るほか、受付・売店・玄関ホール周りの改修と案内表示の統一感のある改修により来館者の満足度の向上を図るもの。令和3年度は、次年度以降の改修に向けたリニューアル基本計画を作成した。

令和4年度に実施設計を行い、令和5年度と6年度に工事を予定している。



リニューアルのイメージ

(6) 彦根城博物館展示ケース整備事業

当館は、収蔵品の核である井伊家伝来の美術工芸品・古文書等を中心に、全て実物を展示し、本物の魅力を伝えることを展示コンセプトとしているが、展示ケースのガラスの反射や映り込み、ケースを自由に配置できない等の問題があり、作品の見せ方に工夫を凝らしにくい状況にある。

これを解消するため、令和3年度および4年度の2ヶ年計画で、展示ケースのガラス面への低反射フィルム貼布を行うとともに、間近で様々な角度から作品を鑑賞できる独立展示ケースを購入する。令和3年度は、フィルム貼布は展示室5・6で行い、独立展示ケースは1台購入した。

フィルム貼付け作業

独立展示ケース

10. 利用状況

(1) 観覧者数

（単位：人）

月　別	個　人		団　体	無　料	合　計	開館以来累計
	一　般	小中学生				
令和 3年 4月	3,864	631	100	996	5,591	4,017,732
5月	4,165	405	57	753	5,380	4,023,112
6月	2,050	174	65	598	2,887	4,025,999
7月	4,095	1,028	49	530	5,702	4,031,701
8月	4,393	1,059	94	554	6,100	4,037,801
9月	3,352	329	57	702	4,440	4,042,241
10月	5,141	507	97	1,249	6,994	4,049,235
11月	7,092	931	248	1,890	10,161	4,059,396
12月	2,647	444	68	576	3,735	4,063,131
令和 4年 1月	753	120	2	269	1,144	4,064,275
2月	1,635	166	6	345	2,152	4,066,427
3月	5,501	964	105	1,160	7,730	4,074,157

※大雪の影響のため、臨時休館（令和4年1月1日～1月3日）
※休館（令和3年4月14日、6月8日、6月16日、8月18日、9月1日、10月19日、11月26日、12月8日、12月25日～12月31日、令和4年1月5日、2月3日、3月8日）

(2) 特別利用

（単位：件）

区　分	熟　覧	撮　影	合　計
令和３年度合計	15	17	17

※１件の申請で「熟覧」・「撮影」を重複して申請することがあるため、「熟覧」・「撮影」の合計と、「合計」とは一致しない。

(3) 画像資産利用

（単位：件）

区　分	掲　載	閲覧・複写	委託業者からの貸出	合　計
令和３年度合計	38	39	72	149

(4) 国宝紙本金地著色風俗図（彦根屏風）商標使用　　6件

(5) 施設利用

（単位：件）

区　分	能 舞 台	木 造 棟	講　堂	合　計
利用件数	3	3	134	140
利用者数	86	43	1,710	1,839

１０．管理・運営

（１）組織　（令和４年３月31日現在）

彦根市教育委員会事務局 ― 彦根城博物館 ― 管理課 ― 管理係
― 学芸史料課 ― 学芸係
― 史料係

（２）博物館協議会

〔委員〕10人
〔会議〕
・第１回
日時：令和３年８月
場所：書面開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
議題：１ 令和２年度彦根城博物館の事業報告について
２ 令和３年度彦根城博物館の事業計画について
３ 令和４年度彦根城博物館の事業取組について
４ その他
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
文化芸術振興費補助金の活用について
・第２回
日時：令和４年３月
場所：書面開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
議題：１ 令和３年度彦根城博物館事業取組状況について（報告）
２ 令和４年度彦根城博物館の事業計画（案）について

（３）職員　（令和４年３月31日現在）

館長	１人
副館長兼学芸史料課長兼史料係長（学芸員）	１人
管理課長	１人
管理課長補佐兼管理係長	１人
主任	２人
会計年度任用職員（事務補助）	２人
学芸史料主幹兼課長補佐（学芸員）	１人
学芸係長（学芸員）	１人
主任（学芸員）	６人
会計年度任用職員（事務補助）	１人

(4) 受付・売店運営、薄茶席運営、作業員業務

受付・案内・観覧券販売　…委託（通常1ポスト）
売店運営　…委託（通常１ポスト）
薄茶席運営　…委託（通常１ポスト）
（土曜日･日曜日･祝日等のほか、行祭事日等の観覧者が多いと想定された日には、増員配置で対応）
作業員（日常保全）　…委託（通常１ポスト）
（庭園管理等、特別作業がある日は増員配置で対応）

(5) 警備・保守・清掃

警備（人的警備）　…委託（夜間1ポスト、昼間2ポスト）
警備（機械警備）　…委託（24時間）
清掃　…委託（毎日2～4人）
電気工作物保守管理　…委託（年6回）
消防設備等保守点検　…委託（外観・機能点検 年間2回、総合点検 年間1回）
自動扉保守点検　…委託（年間4回）
電動椅子保守点検　…委託（年間1回）
空調設備保守点検　…委託（年間2回）
高所作業台保守点検　…委託（年間1回）
重量シャッター保守点検　…委託（年間1回）
便所脱臭装置保守　…委託（年間6回）

(6) 設備改修工事等

施設・設備等の老朽化に伴い、次の改修を行った。
彦根城博物館受変電設備改修工事
期間：令和3年12月4日～令和4年2月28日

(7) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

公益財団法人日本博物館協議会が作成した「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき次の対策を行い、安全・安心の確保に努めた。

①マスク着用による飛沫感染の防止
②手洗い・消毒の徹底やソーシャルディスタンスの確保や入館制限・施設利用人数制限等による接触感染の防止
③発熱者の入館を防ぐため、入館時に検温を実施した。効率化のためサーマルカメラを玄関ホールおよび職員通用口に設置した。

彦根城博物館年報

令和３年度

令和4年7月発行

〒522-0061　滋賀県彦根市金亀町1番1号

彦 根 城 博 物 館